

# 資金繰り管理や採算管理等の 早期の経営改善を支援します

## 早期経営改善計画策定支援事業 【通称:ポストコロナ持続的発展計画事業】 (略称:ポスコロ)

### 専門家の力を借りて自己の経営を見直しませんか？

国が認める士業等専門家の支援を受けて資金繰り計画やビジネスモデル俯瞰図など早期の経営改善計画書を策定する場合、専門家に対する支払費用の2/3（上限25万円まで※）を負担します。

※ 計画策定支援費用	上限	15万円
伴走支援（期中）	上限	5万円（任意）
伴走支援（期末）	上限	5万円

#### 特徴！

- ・過去の資金繰り状況を分析し、今後の資金計画を策定することができます
- ・自社の経営課題を把握し、具体的な行動計画を作成できます
- ・計画策定から1年後に、専門家によるフォローアップを受け、計画の進捗を確認できます
- ・必要に応じ本格的な経営改善や事業再生の支援策をご紹介します

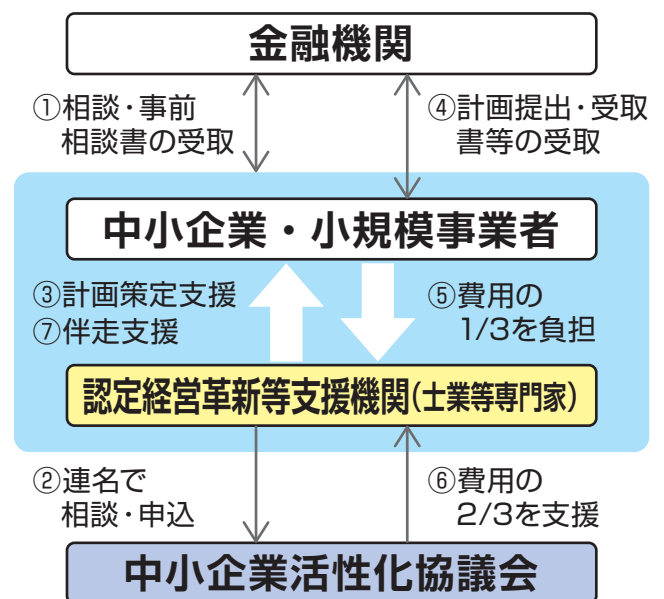


#### — こんな方にお勧めです —

今のところ返済条件等の変更は必要無いが、

- ここのところ資金繰りが不安定になっている
- 売上げが減少し、先行きがわからず不安だ
- 自社の状況を客観的に把握し、今後の取組事項を整理したい
- 専門家から経営に関するアドバイスがほしい
- 経営改善の取組をフォローアップしてほしい

#### 〈利用イメージ図〉



#### 福岡県中小企業活性化協議会 経営改善支援部門

(旧：福岡県経営改善支援センター)

〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号 福岡商工会議所ビル 7F

電話：092-441-1234 FAX：092-292-0255 e-mail：fkaizen@fukuoka-kyogikai.go.jp

ホームページ：https://keieikaizen.fukuoka-kyogikai.go.jp/



お問合せ先



# これで分かる! 経営改善計画 Q&A

**Q1.** 早期経営改善計画と経営改善計画の違いはなんですか？

**A1.** 経営改善計画は、金融機関から新規融資や返済条件の緩和等の金融支援を受けることを目的として、金融調整を伴う本格的な経営改善計画を作成します。

早期経営改善計画では、金融支援を目的とせず、早期から自己の経営を見直す為の資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図などの基本的な計画を作成し、金融機関との対話のツールとなるものです。

**Q2.** 早期経営改善計画書を作るとどのようなメリットがありますか？

**A2.** 次のようなメリットがあります。

- ① 自社の経営を見直すことで、経営課題の発見や分析ができます
- ② 資金繰りの把握が容易になります
- ③ 事業の将来像について金融機関に知ってもらうことができます

**Q3.** この事業において支援の対象となる費用はなんですか？

**A3.** 認定経営革新等支援機関（外部部専門家）による早期経営改善計画策定支援に係る費用（計画の策定費用、伴走支援費用（全て消費税込み））の2/3（上限25万円）以内です。

ただし、上限額25万円のうち、計画策定支援の上限額を15万円、伴走支援（期末）の上限額を5万円、伴走支援（期中、任意）の上限額を5万円としています。

また、経営者保証解除を行う場合、金融機関交渉費用の2/3（ただし上限10万円）を加算することができます。

**Q4.** 本事業を活用して現状分析が重要だと認識しました。さらに分析をしたいのですが、何かツールはありませんか？

**A4.** ぜひ、ローカルベンチマークを活用してください。

各データを入力することで経営状態を簡単に把握、分析できますので、本事業と合わせてご利用されることをお勧めします。